豊田市下水道分野におけるウォーターPPP
第３回説明会

令和7年12月11日

豊田市上下水道局下水道施設課

豊田市下水道キャラクター
ミカホちゃん

本日の説明会の趣旨

- 本市では、令和7年度より、下水道事業の官民連携事業（ウォーターPPP）の導入可能性について検討を行っており、9/26に第１回説明会、10/31に第２回説明会を開催いたしました。

- 第３回説明会は、11/20にホームページに掲載しました皆様からのご質問と回答についてのご説明と、皆様にお願いするアンケートの内容についてご説明を行うものです。

※　**本説明会の内容は、すべて現時点の内容です。**

本日の説明内容

①皆様からのご質問と回答について

②アンケートに関するご説明

③質疑・応答

本日の説明内容

①皆様からのご質問と回答について

②アンケートに関するご説明

③質疑・応答

ご質問と回答について

番号	質問	回答
1	第１回説明会対象者と同じ方にもう一度お声かけいただき、アンケート実施前に第３回説明会開催を希望します。 (9/26に「災害時情報伝達訓練」があり、参加できない業者がいたことが想定されるため。アンケート対象者が30社程度では意見集約するには市内指名業者に対して少ないと思われます。)	第１回説明会案内を送った業者に再度案内を送付し、第３回説明会を行ったうえでアンケートを実施します。 市内本店の土木一式・電気・機械器具・下水道施設管理の入札参加資格者と、第一回案内時に連絡先を登録した業者を対象とします。
2	第１回説明会でアンケートは１１月下旬予定とお話をお聞きしましたが、時期は予定通りでしょうか？ どのような方法と内容で行われるのでしょうか？ アンケート結果を考慮し今後の方針を決定されるにあたり、アンケート結果と理由のご説明をお願いいたします。	第３回説明会およびアンケート調査は年内に行う予定です。 第１回説明会案内を送った業者に案内を送付し、第３回説明会を行ったうえでアンケートを実施します。 アンケート結果は市ホームページにて公表予定です。 また、豊田市の方針を説明する場を設けることを検討しています。
3	アンケート結果によっては、「管路施設」と「処理場・ポンプ場」は分けて運用される可能性はありますか？	「管路施設」と「処理場・ポンプ場」は一体で運用する予定です。
4	第１回説明会で、「令和９年度以降に汚水管改築の交付金等を受けるには」とご説明いただきましたが、最適な事業スキームはいつ頃までに決める予定でしょうか？	今年度内の決定を予定しています。

ご質問と回答について

番号	質問	回答
5	説明会に二度参加させていただきましたが、いまいちよく理解できていません。 また、アンケート結果に基づいた説明会を求めたいと思います。第三回説明会開催をお願いします。	１・２の回答参照
6	一部に対してアンケートを行うと伺いましたが、一部ではなく、指名業者すべてに対して再度のアンケート調査を求めたいと思います。	１・２の回答参照
7	アンケート結果に基づいて方針を決めるとのことでしたが、事業スキームはいつまでに決めるのでしょうか。	４の回答参照
8	説明会でアンケートは、11月下旬ごろ実施となりましたがアンケートは行われますか。また内容はどのような内容になるのでしょうか。 アンケートの内容によっては説明会参加者に対してのアンケートでは絶対に数が足りていないと思われます。 少なくとも市内指名または関係業者に対してのアンケートにするべきだと考えます。	１・２の回答参照
9	前回説明会の時に説明会スケジュールを聞き、第３回説明会が１１月下旬予定でしたがスケジュール通り行われるのでしょうか。 もし行われないのであれば行っていただきたいと希望します。 説明会の開催においてアンケート結果の報告に留まらず、内容または方針を決めるに当たって決定した経緯・理由の説明をお願いいたします。	１・２回答を参照

ご質問と回答について

番号	質問	回答
10	第１回説明会資料にあるように令和９年度以降に汚水管改築にかかる交付金を受けるにはウォーターPPP導入決定済みが条件であるのでレベル3.5必須と考えます。 豊田市においても検討が必要とありますので内容をより幅広く理解・協力するためにも説明していただきたい。	１・２回答を参照
11	現在豊田市プロポーザルにて包括的民間委託されています。 今後ウォーターPPPレベル3.5に要する期限はいつまででしょうか。 維持管理業務に処理場・ポンプ場・管路を含むのか事業スキームにおいても更新支援型なのか更新実施型なのかもう少し具体的な考えをお聞きしたい。	R11の導入を目標としています。 維持管理業務は処理場・ポンプ場・管路全てを含みます。 事業スキームについては、アンケート調査の結果に加えて、定性的・定量的評価をふまえて総合的に判断します。
12	更新支援型＋更新実施型とは具体的にどういう意味か？	管路の改築工事を、ウォーターPPPの委託内で実施するものと、これまでどおり市が発注するものを組み合わせて行うことです。
13	更新実施型に含まれる工事の内容は何か？	管路の改築工事のみ含まれます。耐震化や浸水対策に関する工事は対象外です。

本日の説明内容

①皆様からのご質問と回答について

②アンケートに関するご説明

③質疑・応答

アンケート調査について

✓ 調査期間

令和７年１２月１１日（木）～令和８年１月９日（金）

✓ 回答方法

郵送およびメールに記載リンク先より、オンライン上の回答フォームからご回答をお願いいたします。

※説明会の参加申込と同様のシステムです。

アンケート調査項目

No.	調査項目
1	貴社の事業などに関する質問
2	豊田市下水道分野におけるウォーターPPPの参入意向
3	豊田市下水道分野におけるウォーターPPPの事業方式
4	管路施設の更新工事に関する意向 （質問3-2で「管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）更新実施型」とご回答された方のみ）
5	管路施設の性能発注に関する意向
6	ウォーターPPPにおけるリスク（ウォーターPPPに参画するうえで想定される、事業者のリスクについて）
7	プロフィットシェア
8	その他（ウォーターPPPに関する課題・ご意見等について）

質問1　貴社の事業などに関する質問

No.	調査項目	内容	
1-1	貴社の主たる事業	貴社の主たる事業に該当するものをお答えください。	複数選択可
1-2	PPP/PFI実績	官民連携事業（コンセッション方式、管理更新一体マネジメント方式、包括的民間委託、DB方式、DBO方式等）への参入実績について教えてください。	単一選択
1-3	PPP/PFI実績（事業形態）	参入実績の事業形態について教えてください。	複数選択可
1-4	下水道事業におけるPPP/PFI事業の参入時の体制	参入実績における貴社の参入体制について教えてください。	複数選択可
1-5	事業概要	参入実績の事業概要について教えてください。（自治体名や事業内容など）	自由記述
1-6	ウォーターPPPの実績等	ウォーターPPPの実績や認識についてお聞きします。	単一選択

※質問1-2で「参入実績なし」と回答した場合は、質問1-3、質問1-4、質問1-5に回答する必要はありません。

質問1-1　貴社の主たる事業

以下のうち、貴社が該当する主たる事業を選択してください。（複数選択可）

業種	施設	区分
コンサルタント	下水道管路	
	下水処理場・ポンプ場	
維持管理	下水道管路	点検・調査
		清掃
		修繕
	下水処理場・ポンプ場	運転管理・保守点検
		修繕（機械・電気設備）
		修繕（土木・建築躯体）
工事	下水道管路	
	下水処理場・ポンプ場	機械設備
		電気設備

質問1-3　PPP/PFI実績（事業形態）

PPP/PFI事業の形態のイメージ

PPP/PFI手法		概 要		維持管理：点検･調査･清掃、運転操作･水質管理等	維持管理：修繕	更新計画案策定	建設(改築)	資金調達	運営
包括的民間委託	処理場・ポンプ場	性能発注方式であることに加え、かつ、複数年契約を基本とする方式	レベル1						
			レベル2						
			レベル2.5						
			レベル3						
	管路	「管路管理に係る複数業務をパッケージ化し、複数年契約」にて実施している方式					※対象となる場合もある		
管理・更新一体マネジメント方式［レベル3.5］		維持管理と更新計画策定を一体的に受託者が実施する方式	更新支援型［レベル3.5］						
		維持管理と更新計画策定に加え、更新（改築）工事含めて一体的に受託者が実施する方式	更新実施型［レベル3.5］						
コンセッション［レベル4］		官側が施設を所有したまま公共施設等運営権を民側に設定し、利用料金を民側が直接収受して運営を行う方式							

■ 民間の事業範囲　□ 公共の事業範囲

質問２　豊田市下水道分野における ウォーターPPPの参入意向

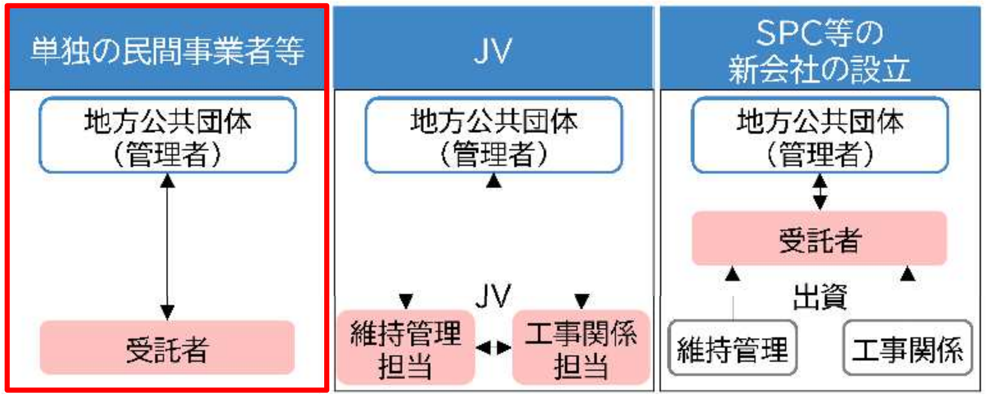
No.	調査項目	内容	
2-1	参入意向	本市がウォーターPPPを導入する場合、参入意向について教えてください。	単一選択
2-2	参入体制	貴社が想定している参入体制について教えてください。	複数選択可
2-3	上記の回答理由	「参入または参入検討をしたいと思わない」理由を教えてください。	自由記述

※質問2-1で「参入または参入検討をしたいと思わない」と回答した場合は、質問2-2、質問3、質問4に回答する必要はありません。

※質問2-1で「参入または参入検討をしたいと思わない」以外と回答した場合は、質問2-3に回答する必要はありません。

質問2-2　参入体制

参入体制のイメージは以下のとおりです。
今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階で貴社が想定する参入体制を選択してください。（複数選択可）



豊田市

契約

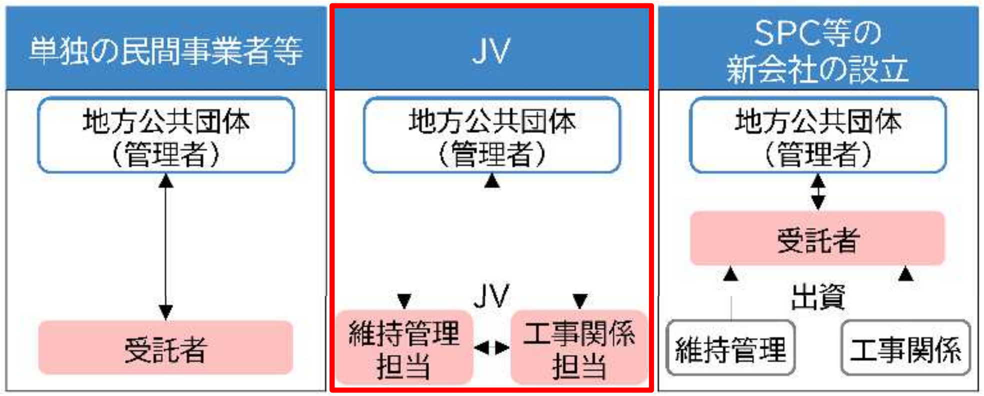
単独の民間事業者等

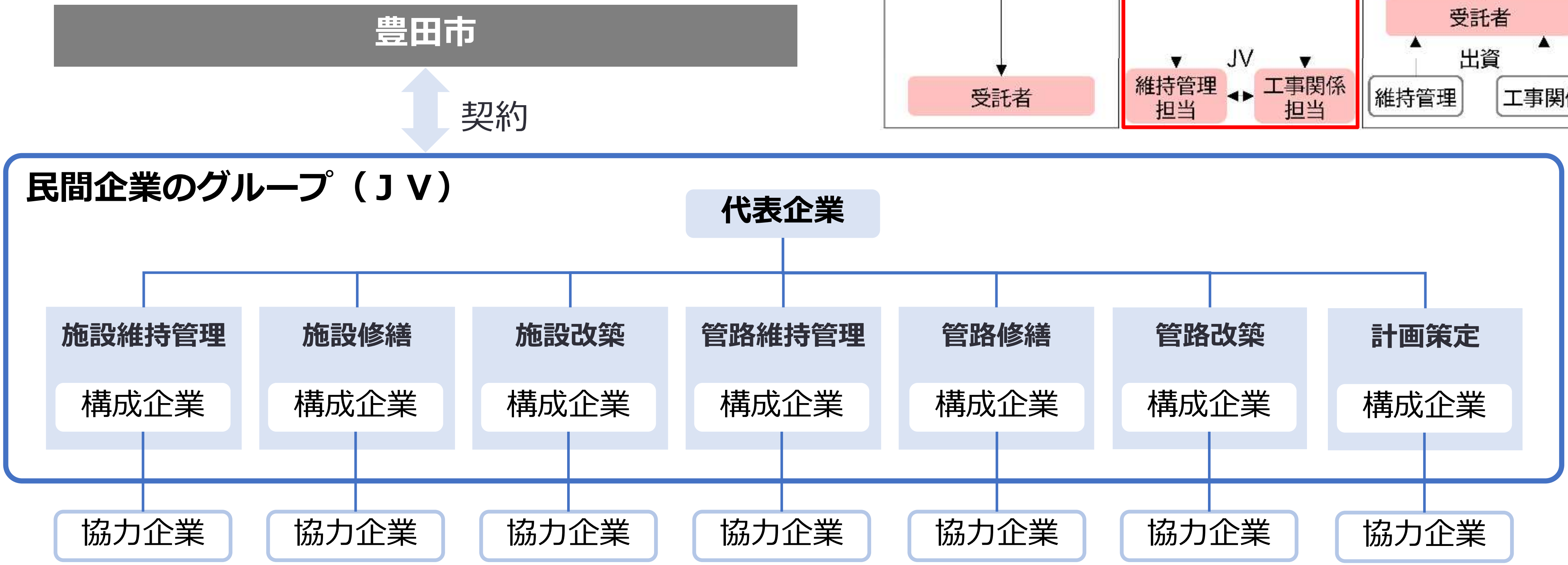
施設維持管理	施設修繕	施設改築	管路維持管理	管路修繕	管路改築	計画策定
協力企業	協力企業	協力企業	協力企業	協力企業	協力企業	協力企業

単独の民間事業者等から再委託

質問2-2　参入体制

参入体制のイメージは以下のとおりです。
今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階で貴社が想定する参入体制を選択してください。（複数選択可）



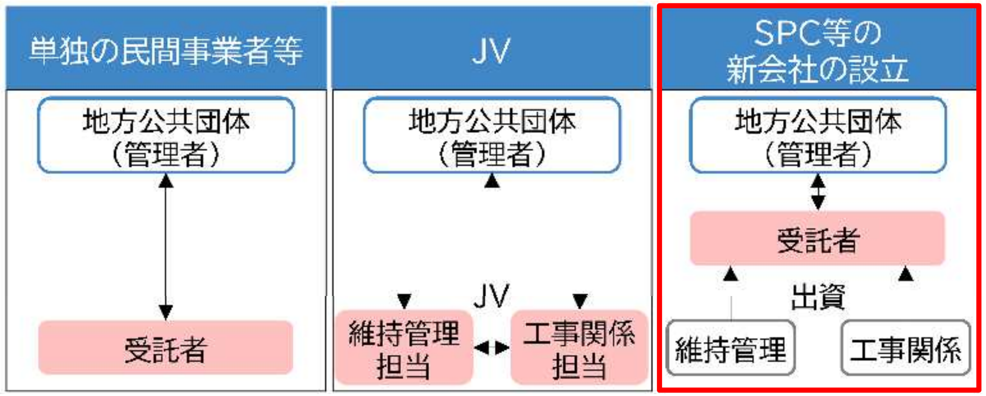


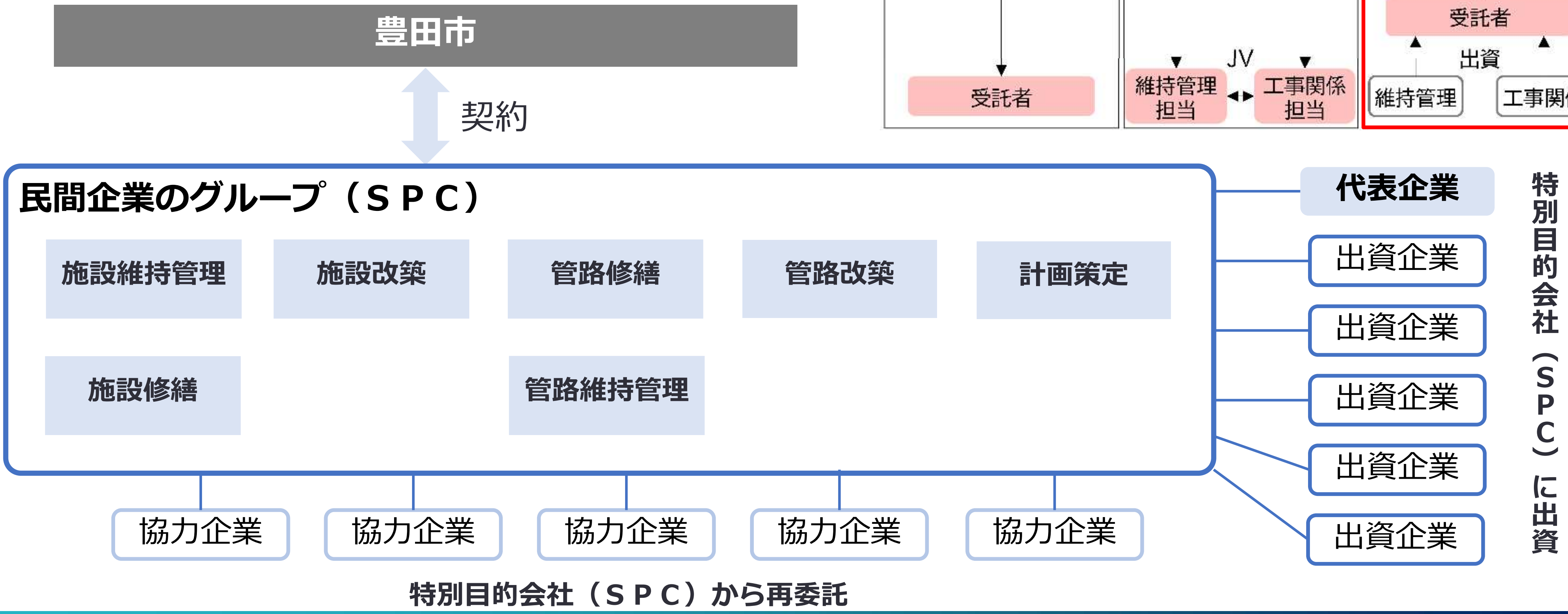
共同企業体（ＪＶ）から再委託

質問2-2　参入体制

②アンケートに関するご説明

参入体制のイメージは以下のとおりです。
今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階で貴社が想定する参入体制を選択してください。（複数選択可）





質問３　豊田市下水道分野における ウォーターPPPの事業方式

No.	調査項目	内容	
3-1	処理場、ポンプ場の事業方式	貴社として、本市が処理場、ポンプ場等に官民連携事業を導入するにあたり、最もふさわしいと考える事業方式を教えてください。	単一選択
3-2	管路施設の事業方式	貴社として、本市が管路施設に官民連携事業を導入するにあたり、最もふさわしいと考える事業方式を教えてください。	単一選択
3-3	上記の回答理由	上記質問（3-1、3-2）で回答していただいた理由を教えてください。	自由記述

事業方式のイメージは以下のとおりです。
今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階で最もふさわしいと考える事業方式を選択してください。（複数選択可）

○ コンストラクション・マネジメント（CM）とは

ウォーターPPP更新支援型において、市が別途発注する更新工事について、受託者が配置するコンストラクション・マネジャーが、発注支援や施工管理を支援する手法

コンストラクション・マネジメントを含む場合、受託者が更新工事の情報を把握しており入札等で優位となるため、当該工事を請け負うことができなくなります。（下水道分野におけるウォーターPPPガイドラインより）

ウォーターPPP導入の検討方針

②アンケートに関するご説明

対象施設	検討内容	検討方針
管路施設	① 更新支援型（実施設計無し・CM方式無し） ② 更新支援型（実施設計有り・CM方式無し） ③ 更新支援型（実施設計無し・CM方式有り） ④ 更新支援型（実施設計有り・CM方式有り） ⑤ 更新実施型	以下の手法により、最適な事業スキームを選定 ・定性的評価 ・定量的評価 ・マーケットサウンディングによるアンケート調査 ※この他、性能発注やプロフィットシェア等について、アンケート調査を行う予定
処理場・ポンプ場	⑥ 更新支援型（実施設計無し・CM方式無し） ⑦ 更新支援型（実施設計有り・CM方式無し） ⑧ 更新支援型（実施設計無し・CM方式有り） ⑨ 更新支援型（実施設計有り・CM方式有り） ⑩ 更新実施型	

※導入方針は現時点のものであり、検討結果によって導入方針が変わる可能性があります。

ウォーターPPP導入の検討方針

②アンケートに関するご説明

対象施設	ウォーターPPP業務範囲案	事業名・工事名（案）	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
管路施設	更新実施型の場合、ウォーターPPPの業務範囲	ハイセラミック管更新工事				約90億円						
		ストックマネジメント計画に基づく更新工事（ハイセラミック管以外の管更新工事）				約1.5億円/年						
	ウォーターPPP導入後もこれまでどおり市発注	上下一体耐震化事業				約40億円						
		雨水管渠耐震化事業	約2億円									
		流域下水道接続管渠整備事業		約6億円								

※赤字の事業・工事は、更新実施型の場合、ウォーターPPPの業務範囲とすることを検討しています。
※事業名・工事名（案）、施工予定年度は現時点のものであり、検討結果によって導入方針が変わる可能性があります。

ウォーターPPP導入の検討方針

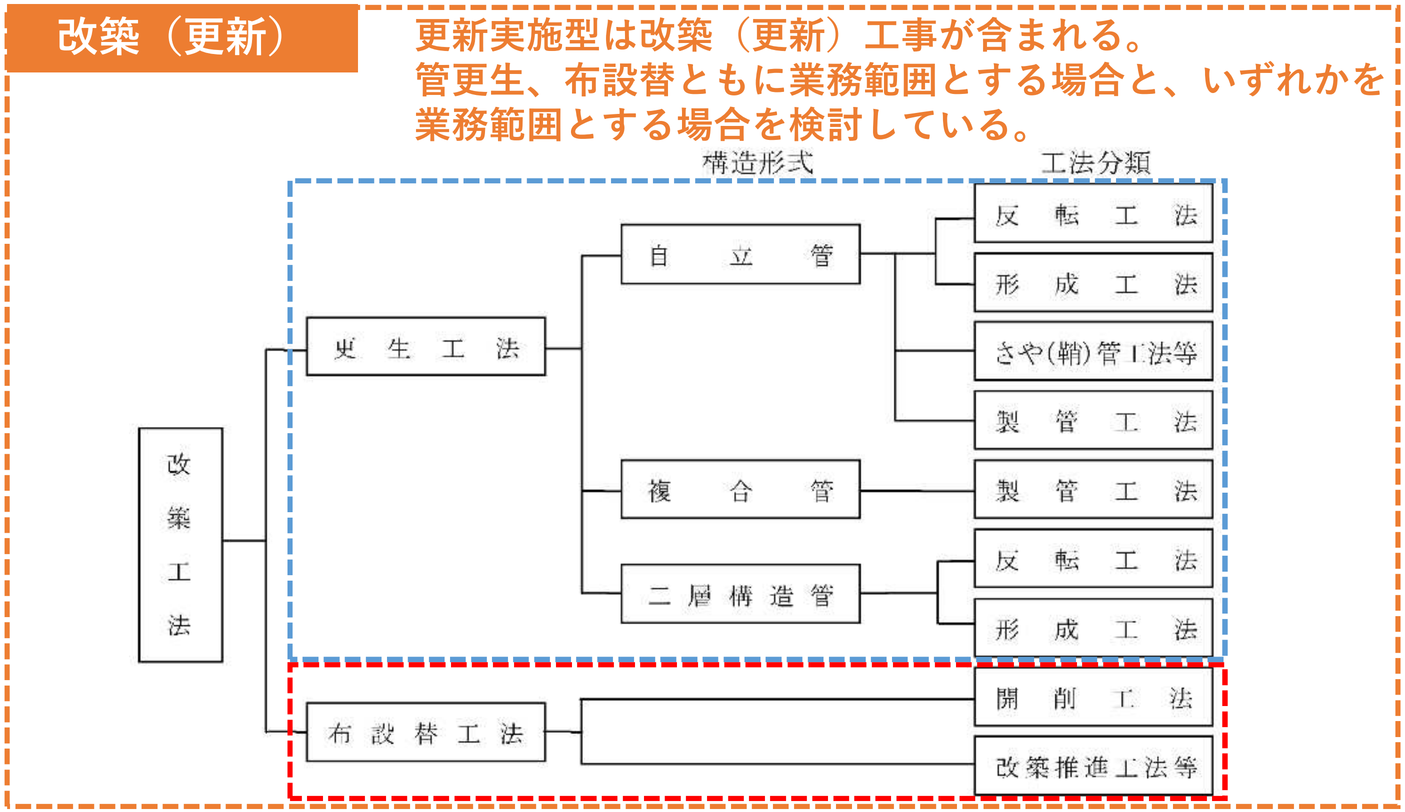
②アンケートに関するご説明

対象施設	ウォーターPPP業務範囲案	事業名・工事名（案）	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
処理場・ポンプ場	**更新実施型の場合、ウォーターPPPの業務範囲**	**公共・特環マンホールポンプ・真空ステーション設備更新工事**			約2.1億円							
	ウォーターPPP導入後もこれまでどおり市発注	中部第2ポンプ場再構築事業			約19億円							
		雨水ポンプ場更新工事			約4億円							
		汚水ポンプ場設備更新工事			約6.5億円							
		汚水処理場ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画に基づく電気設備更新設計					約0.4億円					

※赤字の事業・工事は、更新実施型の場合、ウォーターPPPの業務範囲とすることを検討しています。
※事業名・工事名（案）、施工予定年度は現時点のものであり、検討結果によって導入方針が変わる可能性があります。

質問4　管路施設の更新工事に関する意向

今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階で最もふさわしいと考える業務範囲を選択してください。



質問3-2で「管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）更新実施型」以外と回答された場合、回答いただく必要はありません。

質問5　管路施設の性能発注に関する意向

今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階でのお考えを記入してください。（任意）

- ✓ 性能発注を原則とするが、管路は仕様発注から開始し、事業期間中に段階的に性能発注へ移行することも可能
- ✓ 管路の性能規定について、右図のイメージが示されている。
- ✓ 性能規定の指標設定の考え方について、右表の例が示されている。
- ✓ モニタリングや履行確認により指標の達成を確認し、未達の場合は罰則規定を設ける場合がある。

管路施設の性能規定のイメージと指標設定の考え方

リスク分担	易 ─────────▶		難
管路性能規定イメージ	人員、時期、機器、方法等は受託者に委ねた上で適切に法定の保守点検（下水道法施行令第5条の12）を実施すること	業務による効果を示す指標を定め、受託者の努力目標として活用することで下水道サービスの水準を向上させること	管路の適切な流下能力を確保（陥没・閉塞等による溢水発生等、直接的に住民生活に影響を与える事象が発生しない状態を保つよう努めること）

項目（一例）	指標設定の考え方
つまり箇所数（箇所/年）	●発生箇所数の過去実績を参考
住民対応・ 緊急対応時間（時間、分）	●通報→対応時間の過去実績を参考
状態把握率（％）	●緊急度・健全度を把握した割合
台帳情報補正率（％）	●台帳情報を補正・更新した割合

出典：下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第2.0版【実施編】

質問6　ウォーターPPPにおけるリスク　②アンケートに関するご説明

今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階でのお考えを記入してください。（任意）

- ✓ 官民連携事業におけるリスク（事業を妨げる不確実な要因）は様々な事象が想定され、委託者・受託者のいずれがリスクを負担するのかを契約で明確に規定します。
- ✓ リスクの種類は、天災等の不可抗力、法令等変更、物価変動、計画・設計・仕様変更、水量の変動、施設瑕疵など
- ✓ リスク分担の基本的な考え方は、リスクを最も適切に管理することが可能な者がリスクを負担することが原則
- ✓ 想定外のリスクが発生した場合は、官民対話により解決することが原則であり、対話が整わない場合に備えて、紛争調整会議や中立的な第三者の関与を規定することも考えられる。

リスク分担の事例

リスクの種類	リスクの内容	負担者		リスク分担の考え方
		管理者	受託者	
不可抗力	天災（暴風、洪水、高潮、地震その他の異常天然現象）、人為的事象（戦争、テロ、暴動等）、その他（放射能汚染、放火、疫病、第三者の悪意及び過失など）等、通常の予見可能な範囲外のものであって、施設の運営に直接影響を及ぼす事象	○		国庫負担法に該当する天災は、原則、管理者側（国費負担）で負担する。
			○	管理者が予め指定する保険により対応可能な範囲は受託者が負担する。
			○	国庫負担法に該当せず、保険によっても対応が不可能な不可抗力については、受託者が経営努力により事業維持を目指す。
		○		経営努力を行っても、なおリスクを負担しきれない場合については、管理者が負担することが考えられる。

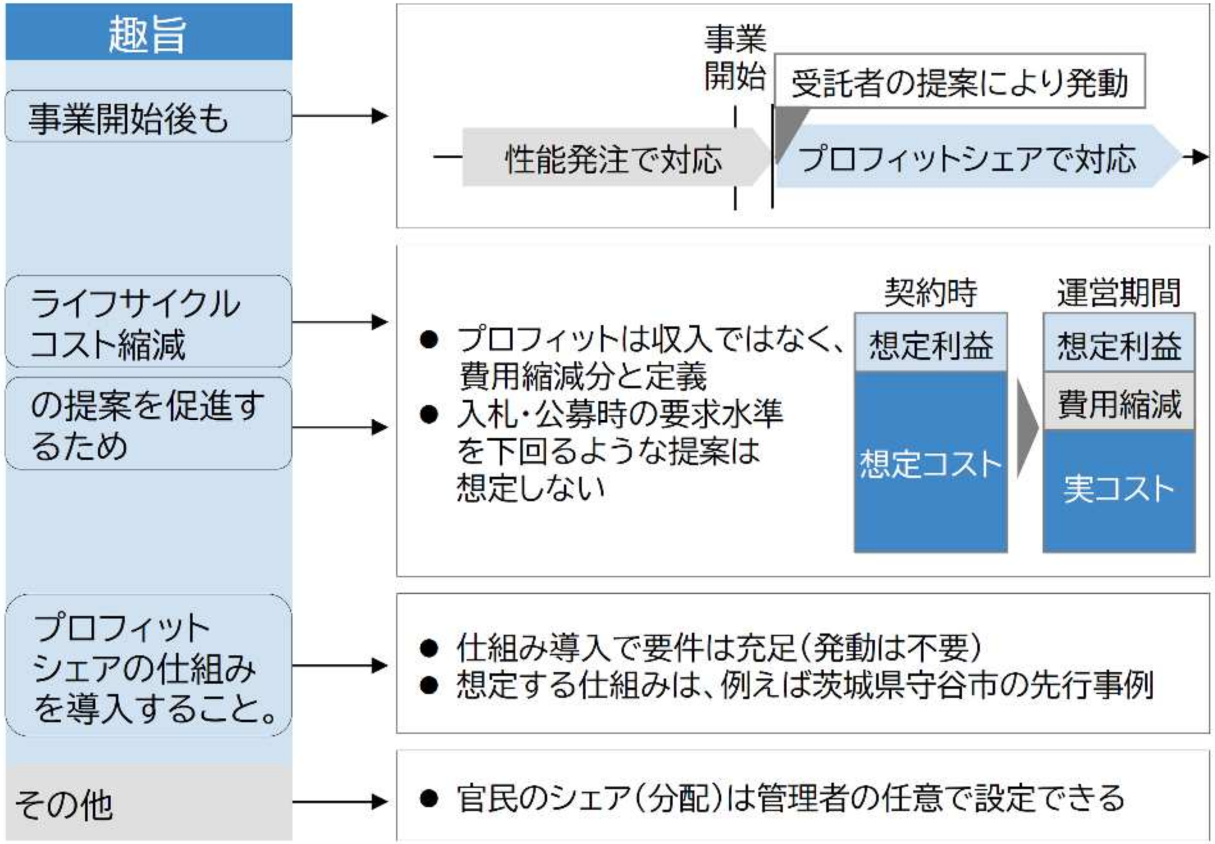
出典：下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第2.0版【実施編】

質問7　プロフィットシェア

②アンケートに関するご説明

今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階でのお考えを記入してください。（任意）

- ✓ プロフィットシェアは、事業開始後に受託者がコスト削減の提案を行い、コスト削減を実行した場合に、縮減分を官民でシェアする仕組み
- ✓ プロフィットシェアに関する手続きや官民のシェアの割合等を契約時に規定する。
- ✓ 官民のシェア割合について貴社の考えに近いものを選択してください。



出典：下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第2.0版【実施編】

質問8　ウォーターPPPに関する課題・ご意見等

今後、お考えが変わる可能性があると思いますが、現段階でのお考えを記入してください。（任意）

No.	調査項目	内容	
8-1	サービス水準の維持・向上	本市のウォーターPPP導入検討に対してご要望や配慮を望む事項があれば、理由とあわせて教えてください。（事業への反映をお約束するものではありません）	自由記述
8-2	自由意見	その他、本市ウォーターPPP全般に関して、ご意見がありましたら教えてください。	自由記述

本日の説明内容

①皆様からのご質問と回答について

②アンケートに関するご説明

③質疑・応答

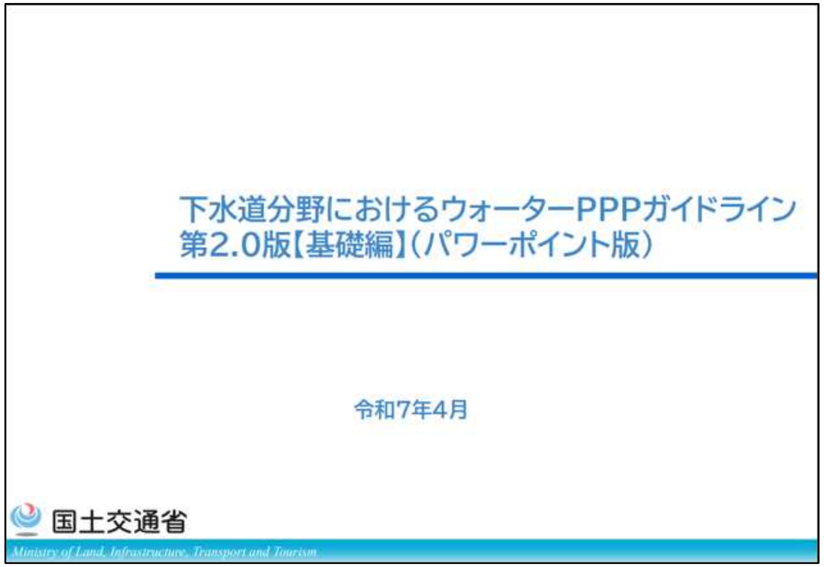
【参考】ウォーターPPPガイドライン

- 下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第2.0版（国土交通省）

ウォーターPPPに関する詳しい内容は、最新のガイドラインをご参照ください。

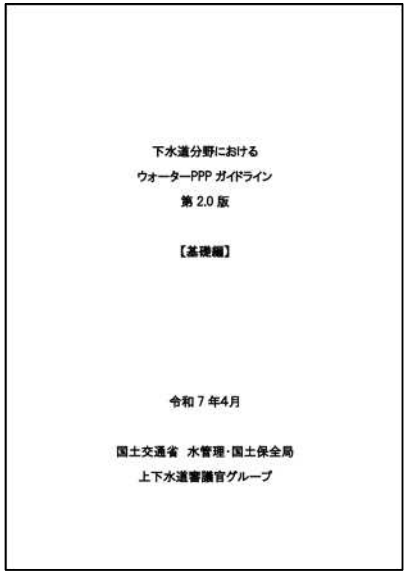
基礎編、実施編、資料編の３部構成です。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000895.html


下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン
第2.0版【基礎編】（パワーポイント版）

令和7年4月

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism


下水道分野における
ウォーターPPP ガイドライン
第 2.0 版

【基礎編】

令和 7 年4月

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道審議官グループ